



東京都教育相談 センターだより

平成 18年10月発行 VOL.14
東京都目黒区目黒1-1-14
電話 03(5434)1984
ファクシミリ 03(3493)2293

事業報告

専門家アドバイザースタッフ活動報告報告会

平成18年10月4日(水)に東京都教職員研修センターで専門家の活動報告会を開催しました。

- ▶ 今年度専門家スタッフは、都立高校に重点的に派遣をしていますので、都立高校で実施している「定期相談日」の活動内容についての報告が主体となりました。(「定期相談日」とは、都立高校に専門家スタッフを5回派遣するもので、今年度は第1期・第2期あわせて33校で実施します。)個別面談が主な活動で、生徒本人や保護者、教員の相談を行っています。専門家スタッフからは、次のような報告がありました。都立学校はそれぞれ学校の状況が異なるので、学校の様子を把握しながら、相談に取り組んでいること 学校で行っていることで、生徒が気軽に相談に訪れることができること 相談の結果、医療につながることができたこと。
- 当センターでは、第2期の初回派遣の前に学校と十分打ち合わせを行うよう調整を図ります。●

学生アドバイザースタッフ研修会



平成18年10月6日(金)に東京都教育相談センターの会議室で開催しました。

- ▶ 当日は、アドバイザースタッフに登録している学生が15名参加しました。参加者の半数は、すでに学校や家庭に派遣されている学生でした。
報告会は、前半に構成的グループエンカウンターを行いました。この演習は、その後のプログラムに積極的に参加できるように実施しました。演習が終了して、会場の雰囲気は柔らかいところで、派遣されている学生からの活動報告を行いました。
派遣された学生が報告を始めると、学生はそれぞれメモを取り、自分の活動の参考にしていました。報告が終わると、学生から質問を受けたり、センター所員から子どもの見方に対するアドバイスを行いました。
5月のスタッフ登録会では、時間の関係でこのような詳しい活動内容の話ができませんでしたので、今回参加した学生からは、「とても参考になった」、「これからの活動時に生かしていきたい」、「他の人にも紹介したかった」との感想が多く寄せられました。



青少年リスタートプレイス ~一人で抱え込まないで~

高校を中退し、再スタートしたい方や高校を不登校の方に・・・



第1～4回『つどい』開催報告

高等学校を中途退学した方やその保護者を支援するために、昨年度当センターに「青少年リスタートプレイス」を設置しました。電話や来所による個別相談や情報提供、関係機関の紹介等を行っています。

「何か居場所が欲しい」や「同じような悩みを持つ人同士が話し合える場を設定してほしい」という要望から、今年度『つどい』を実施しています。これまでの内容を報告致します。

青少年を対象に『つどい』を設定しましたが、実際にご参加いただいているのは、ほとんど保護者の方です。

第1回『思春期・青年期のいろいろ』のテーマ。心理職より「学校に行っていない子どもは、学校の先生や保護者の意に反して家にいるが、そのことには相当なエネルギーを使っていること。子どもの進路の情報を知っておくことは必要だが、全て準備してあげることは、自立に結びつかない。」

第2回は、『自己理解って何だろう?』のテーマ。心理職より「不登校になると、多くの場合徐々に学校に行かない日々が続く。その過程では、家庭内暴力や無気力などの行動も見られる。その後低迷期を経て、また少しずつ上っていき、外に向かって動ける日が近づいてくる。最初の段階のときは、自分のエネルギーもダウンしているので、保護者が何を言っても返って逆効果になることが多い。本人が一人で動き出せるまでじっくり待ち、少し遠くから子どもの様子を見ることも大切。保護者が待つことがなかなかできない時は、自分の趣味を持ったり、行き先を告げて外出をしてみるのも一計。」

第3回は、『思春期・青年期の相談を通して』のテーマ。「母と子が会話をするのに丸5年かかってしまった事例をあげて、思春期のお子さんとの関係回復には大変時間がかかることが常です。そのために保護者の心の持ちようを変えること、持久力が何よりたいせつなのです。この事例で結果的にこの危機をうまく乗り越えられた理由は、父親が子どもの話をよく聞いてあげていた。この子どもの事だけに集中して落ち込まず、仕事や趣味に打ち込んでいた。子どもの困った関係について相談したり、愚痴をこぼすことができたなどお子さんに対して適度な距離を保って見守る持久力を与えてくれたことが要因。」

参加された方から「次の『つどい』までこの1ヶ月間、何とか頑張れます。」というご意見をいただきました。

第4回は、『中退しても入学できる都立高校』のテーマ。「進路は本人が決める 不登校については進路変更をする充電期と考える 他の人とは比較しない 学校見学を必ずする 高校期は父親の出番など、現状をプラス思考ととらえ、ご家庭を太陽のように明るくホッとできるような場所にしましょう。」

『つどい』

第5回 チャレンジスクールの生活	チャレンジスクール担当者	11月30日(木)14:00～16:00
第6回 私が一步踏み出せたのは	体験談	12月21日(木)14:00～16:00
第7回 再出発しました!	体験談	1月25日(木)14:00～16:00

第2回 進路相談会

～きっと見つかる“きみの道”～

あと残り2会場となりました!どうぞご参加ください!



平成18年11月11日(土)東京都多摩教育センター (立川市・JR西国立駅徒歩10分)

平成18年11月18日(土)江戸川区小松川さくらホール (江戸川区・都営新宿線東大島駅徒歩10分)

いずれも全体会は13時から14時30分までです。

【内 容】

第一部 全体会

(これからの進路についての概要説明 都立高校(チャレンジスクール)からの説明、通信制サポート校・東京ネットワークの説明)

11/11 八王子拓真高校 11/18 稔ヶ丘高校

第二部 個別相談会(全体会の前にも個別相談を実施します。お一人15分程度)

*次号(11月号)は、『いじめについて』の特集を掲載します。